

3-6 カムイユカラ

「ハラトンナ」

白熊神

語り：貝澤とるしの

サケヘ V=ハラトンナ

V=haratonna

二次的なサケヘ^[1]

サコンタラポ チキリパ オシケ

sakontarpo cikirpa oske

V サコンタラポ

V sakontarpo

V チキリパ オシケ

Vcikirpa oske

V カムイ ネ アン クル

神である人と

V kamuy ne an kur

V チェウタンネ ワ

私は結婚して

V c=ewtanne wa

V オカアシケ

暮らして

V oka=as h_ike

V ピリカ ポンペ

私は良い赤ん坊

V pirka ponpe

V チヤイコサンケ

を産んだ

V ci=yaykosanke

V チセトウルフ V ci=seturuhu	私の背中を
V チョテレケレ V c=oterkere	踏んづけさせて
V サコンタラボ V sakontarpo	
V チキリパ オシケ V cikirpa oske	
V キ コロ ネシ ^[2] V ki kor nesi	しながら
V オカアシ アワ V oka=as awa	私がいたところ
V チコン ニシパ V ci=kor_ nispa	私の旦那の
V ユピヒ タ V yupihi ta	兄のところで
V 「サケ アカン ナ V “sake a=kar_ na	「私が酒を作ったよ
V アアクニシパケ V a=aknispake	私の弟よ
V イクタサ エエク」 V ikutasa eek”	酒宴にきなさい」
V セコロ オカイ ペ V sekor okay pe	ということを

V アイェ ルウエ ネ V a=ye ruwe ne	言われた
V キ ロク アワ V ki rok awa	そうしたところ
V アコン ニシパ V a=kor_ nispa	私の旦那は
V 「アラパアン クシ ネ ナ V “arpa=an kus ne na	「私は行くよ
V アコロ ポンペ V a=kor ponpe	私の坊や
V カムイ ネ アン ペ V kamuy ne an pe	神であるものを
V ピリカノ エヤム」 V pirkano eyam”	よく面倒見るのだよ」
V セコロ オカイ ペ V sekor okay pe	ということを
V タ イェ カネ V ta ye kane	言いながら
V アラパ ワ イサム V arpa wa isam	行ってしまった。
V キ オカケ タ V ki okake ta	そうしたあとに
V サコン タラポ V sakon tarpo	

V チキリパ オシケ

V cikirpa oske

V キ コロ オカアシ

V ki kor oka=as

そうして暮らしてい

V キ ロク アワ

V ki rok awa

たところ

V ホントモ ワノ

V hontomo wano

途中から

V チコロ ポンペ

V ci=kor ponpe

私の坊やが

V チシコワイセ

V ciskowayse

泣きわめく

V エネ チカリ

V ene ci=kar h_i

私はどうしようも

V イサム キ コロ

V isam ki kor

なくていながら

V オカアシ アワ

V oka=as awa

いたところ

V セコン ネ コロ

V sekor_ ne kor

というところで (話変わって)

V アイヌ ニシパ

V aynu nispa

アイヌの旦那で

V アネ ヒネ

V a=ne hine

私はあつて

V キムン チセ オロ ワ V kim un cise or wa	山の家から
V イワカン アワ V iwak=an awa	私が帰ったところ
V ソモ カ エネ V somo ka ene	よもや
V シリキ コンナ V sirki konna	そのような様子である (とは)
V アラム ロキ V a=ramu rok h_i	私が思 (わなか) った
V	
V アン レタラ カムイ V ar_ retar kamuy	真っ白い神 (クマ)
V カムイ ネットパ V kamuy netopa	神中の神
V ネ コロカイキ V ne korkayki	であるけれども
V エネ オカ ヒ V ene oka hi	こんな様子であった
V オッシケオペ V ossikeope	内臓を
V コオヘテッケ V koohetetke	ぶちまけて

V チピレタ(?) V cipireta(?)	傷だらけになったものが(?)
V イエカリ エク ナ V i=ekari ek na	私に向かって来るよ
V タシロ アエタイテクテク V tasiro a=etaytektek	山刀を引き抜く
V フムセ トウラ V humse tura	フムと声を上げながら
V ホリピ トウラ V horipi tura	踊りと共に
V パセ カムイ V pase kamuy	重々しい神が
V ラモシマ コ V ramosma ko	一緒になって(?)
V マカナク ネ ルウエ V makanak ne ruwe	どうしたことで
V アン キ クス V an ki kusu	あるのか
V カムイ ケウエホムス V kamuy kewehomsu	クマの神に危なかったことの見舞いを(魔払い)
V アキ シンネ ナ V a=ki sinne na	私はしているのだった。
V パセ カムイ V pase kamuy	重々しい神が

V ラモシマ コ V ramosma ko	一緒になって
V マクネ ルウエ アン V makne ruwe an	どうしたのか
V ハウエアナン コロ V hawean=an kor	私が言いながら
V ホリピ [°] アン アクス V horipi=an akusu	私が踊ると
V アイヌ アシル ネノ V aynu as ru neno	人間が立つのと同様に
V エネ ヘタプ ネ V ene hetap ne	であろうか
V オッシケオペ V ossikeope	内臓が
V コオヘテツケ プ V koohetetke p	流れ落ちるもの
V アイヌ アシル ネノ V aynu as ru neno	人間が立っているかのように
V アン キ ヒネ V an ki hine	して
V ホリピ [°] キ コロ V horipi ki kor	踊りながら
V ヘセパハ V hesepaha	吐く息が

V エネ ネ ペコロ V ene ne pekor	このようであるかのように
V チヌ キ キ ヒ V ci=nu ki ki hi	私が聞いたことは
V 「アイヌ ニシパ V “aynu nispa	「人間の長よ、
V シパセ カムイ V sipase kamuy	私はまことに尊い神
V アネ キ ヒネ V a=ne ki hine	であって
V レタッチラマンテプ V retatciramantep	白い動物
V アネ キ キ ワ V a=ne ki ki wa	であって
V タンペ ポ ヘネ V tampe po hene	それゆえになおさら（父母にかわいがられた）
V オナ アコロ ワ V ona a=kor wa	私には父がいて
V ウヌ アコロ ワ V unu a=kor wa	私には母がいて
V アイオマプレシパ V a=i=omaprespa	私は可愛がられて育てられた
V キ ロク アワ V ki rok awa	そうしたところ

V ユプ アコロ ワ V yup a=kor wa	私には兄が
V アナン ヒケ V an=an hike	いたのだが
V サケ アカン ナ V sake a=kar_ na	酒を作るよ
V イヤシケウカン ナ V iaskeuk=an na	招待するよ
V アアクニシパケ V a=aknispake	私の立派な弟よ
V エク ワ イコレ V ek wa i=kore	来てください
V テシカラ クス V teskar kusu	(という) 伝言が来たので
V アラパアン アワ V arpa=an awa	私が行ったところ
V ウサ シト V usa sito	いろいろな団子
V ウサ オヤオヤ プ V usa oyaoya p	いろいろな別々のもの
ウサ チェプ ピリカ ヒ usa cep pirka hi	いろいろな魚の良いものを
V アイコプニ ヒ クス V a=i=kopuni hi kusu	私に供えたので

V アコロ ポンペ V a=kor ponpe	私の坊や
V アコロ カツケマツ V a=kor katkemat	私の妻に
V アコメカレ クス V a=komekare kusu	食べ物を持って帰るために
V アアリ アクス V a=ari akusu	私を取り分けると
V ルシカ クス V ruska kusu	(それに) 腹を立てて
V アイヌパタウン V aynupataun	うらやましいなあ
V ポコロ クス V pokor kusu	子供がいるので
V イメカレ シリ V imekare siri	食べ物を分けるなんて
V セコロ オカイ ペ V sekor okay pe	ということ
V タ イェ カネ V ta ye kane	いいながら
V マカニ クス V makani kusu	どういうわけで
V エネ ハワシ アン V ene hawas h_i an	そんなこと (難癖) を言うのか

V セコロ オカイペ V sekor okaype	ということ
V シサム ネ ウタラ V sisam ne utar	そばにいる人々
V ネ ワ ネ ヤッカ V ne wa ne yakka	も
V タ イェ カネ V ta ye kane	言って
V キ ヒケ カ V ki hike ka	くれるのだが
V ヌ ハウエ カ V nu hawe ka	聞くことも
V ヌ シリ カ V nu siri ka	聞く様子も
V イサム キ コロ V isam ki kor	なく
V イコテレケ V i=koterke	私にとびかかって
V キ ロク アイネ V ki rok ayne	そうしたあげく
V アオッシケオプ カ V a=ossikeop ka	私のはらわたも
V イコオテッテレケ V i=kootetterke	私に対して何度も踏みつけ

V イコペツパカラ V i=kopetpakar	ずたずたに裂いた。
タップ エネ アナン ルウエ ネ ナ tap ene an=an ruwe ne na	(そして) 私はこのような姿になったのだ。
V イチョッチャ ワ イコレ V i=cotca wa i=kore	私を射ってくれ
V キ ワ ネ ヤクネ V ki wa ne yakne	そうするのなら
V アシリ カムイ ネ V asir kamuy ne	新しい神になる
V アシリ ピト ネ V asir pito ne	新しい神になる
V アナン ヤクネ V an=an yakne	私がいたら
V エセレマカ アウシ V e=sermaka a=us	私はお前の守り神になって
V アエピリカレ クス V a=e=pirkare kusu	私が豊かにするので
V キ ナ」 セコロ V ki na” sekor	そうするのだよ」と
V ヘセパハ V hesepaha	吐く息が
V アヌ ルウエ ネ V a=nu ruwe ne	そう聞こえたのだ。

V ラッチタラ V ratcitara	ゆっくりと
V アラパ ヒ クス V arpa hi kusu	歩いて行くので
V オシ アラパアン V os arpa=an	その後を私は行く
V キ アクス V ki akusu	すると
V アコン ヌサ コパク ウン V a=kor_ nusa kopak un	我が家の祭壇のほうへ
V アラパ ヒ クス V arpa hi kusu	行ったので
V トウ イヨアイ V tu iyoay	2本の毒矢
V アイ アエアキネ V ay a=eak h_ine	矢を私は射て
V アチョツチャ アクス V a=cotca akusu	射当てると
V エアラ アイ ネ V ear ay ne	ただ一本の矢となって
V アチョツチャ キ コロ V a=cotca ki kor	ささって
V イナウチパ エルプシク タ V inawcipa erupsik ta	祭壇の東側に

V アラパ ヒネ 行って

V arpa hine

V シロシマ ルウエ ネ 倒れたのだ

V sirosma ruwe ne

V

(ここから散文)

タップネ ネ コロ

tapne ne kor

このとおりであると

それこそ カムイ フチ オロ タ アフナニネ

SOREKOSO kamuy huci oro ta ahun=an h_inē

それこそ火の神のところに私が入って

タップネ タップネ ネ ワ カムイケウエホムスアン コロ

tapne tapne ne wa kamuykewehomsu=an kor

かくかくしかじかで私がクマの神に危なかったことの見舞いを言うと

アン レタラ カムイ アトゥラ ワ エカン アライケ ワ エカン ルウエ ネ
ナ。

ar_ retar kamuy a=tura wa ek=an a=rayke wa ek=an ruwe ne na.

私は真っ白いクマ神を連れてきて殺してきたのだよ。

カムイ フチ ヌ ワ イコレ セコロ イタカン アワ エネ ネ ヒ

kamuy huci nu wa i=kore sekor itak=an awa ene ne hi

火の神が聞いてくれと言ったところこんなこと

コント カムイ フチ ソイネ ワ カシパオツテ ヒ カ

konto kamuy huci soyne wa kaspaotte hi ka

それから火の神が外に出て命じたことも

オラ ウェンタラブ カトゥ エネ アニ

ora wentarap katu ene an h_i

そして夢に見た様子はこんなことであった。

「それこそ イユプネ クル アナクネ

“SOREKOSO iyupne kur anakne

「それこそ兄である人は

フレ トンプク イカクシテ クン ネ ワ ウェン ヌコシネ プ

hure tonpuku ikakuste kur_ ne wa wen nukosne p

赤い道服を上から着た人で、悪い短気もの

ネ ワ クス アク トノケ アクニシパケ ライケ ハウエ

ne wa kusu ak tonoke aknispake rayke hawe

であるので弟様、立派な弟を殺したということ

ネ ヤッカ ライケ エカツネカリ (?) ^[3] ネ ヤッカ カムイ ネ

ne yakka rayke ekatnekar h_i(?) ne yakka kamuy ne

であれ、殺したも同然ということであれ (?)、神として

エカラ ワ アエコプンテク クス エセレマク ウシ オアシ ナ」

e=kar wa a=ekopuntek kusu e=sermak us oasi na.”

お前が祭ってくれて私は嬉しいので、お前の守り神になることにするぞ」

セコロ ウェンタラパン オラウン ソンノ カ

sekor wentarap=an oraun sonno ka

と私は夢に見た。それから本当に

レタラ コソンテ ミ カムイ イウエンタラプテ ヒ エネ オカ ヒ

retar kosonte mi kamuy i=wentarapte hi ene oka hi

白い小袖を着た神が私に夢を見せたことはこんなことであった。

「アイヌ ヘタプ エネ カトゥ アン アイェ プ ネノ エイキ ワ

“aynu hetap ene katu an a=ye p neno e=iki wa

「人間なのか？ こんなことを私が言ったとおりお前がしてくれて

タネ アナクネ イナウ ピリカプ イコレ ワ アシリ ピト ネ
tane anakne inaw pirkap i=kore wa asir pito ne

いまはイナウのよいものを私にくれて私は新しい人、

アシリ カムイ ネ アナン ワ、ネワアンペ アコロ ソン
asir kamuy ne an=an wa, newaanpe a=kor son

新しい神となり、暮らしていて、そのために私の子は

エカッキクシ クス オヤチキ チシ ネ アン ペ ヤ カ アエラミシカリ ノ
ekatkikus kusu oyaciki cis ne an pe ya ka a=eramiskari no

思うに悪い予感がして泣いていたのも私はわからないで

エネ イキアン

ene iki=an

このようにした。

オラウン アウエン ユピヒ エネ イラ…… イアラタツパ ルウェ アン ペ
oraun a=wen yupihi ene ira... i=aratatpa ruwe an pe

それから私の悪い兄がこのように私を切り裂いたのだが(?)、

イケウエホムス パテク カ アエヤイライケ アクス
i=kewehomsu patek ka a=eyairayke akusu

私に危なかったことの見舞いを言ってくれるだけでも感謝するところを、

トゥ アイ イヨアイ アニ エアラ や(?) アニ イチョツチャ ワ
tu ay iyoay ani ear YA(?) ani i=cotca wa

二つの矢、毒矢で、一つの矢で私を射って、

タネ アナク カムイ ネ アナン クス
tane anak kamuy ne an=an kusu

いまは神となって暮らしているてので、

エセレマカ アウシ ワ シノ ニシパ ネ エアン オラウン
e=sermaka a=us wa sino nispa ne e=an oraun

私はお前の守り神になって、お前は本当に立派になる。それから

ウトウレシコロ ヘカッタラ カ アエコペカ ワ エコウオマ ワ

utureskor hekattar ka a=e=kopeka wa e=kouoma wa

妹のいる子供たちも私がお前にさずけて、お前に子供が揃い、

シノ ニシパ エネ オラ レタラ カムイ アノミ ナ セコロ エハウエアン ヤク

sino nispa e=ne ora retar kamuy a=nomi na sekor e=hawean yak

お前は本当に立派な長者になり、そして、「私は白いクマ神を祀りますよ」と言ったら

ウカットウイマノ ネ ヤッカ キ ヤクネ エセレマカ アウシ

ukattuymano ne yakka ki yakne e=sermaka a=us

互いに遠くに離れていても、そのようにしたら（私に祈ったら）、私はお前の守り神になり、

エコロ ヘカッタッ トウラノ エセレマカ アウシ ヤクネ

e=kor hekattar_ turano e=sermaka a=us yakne

お前の子供たちと一緒に、お前の背後に私が憑いたら

パクノ ニシパ イサム ニシパ エネ オアシ プ ネ ルウエ ネ ナ。

pakno nispa isam nispa e=ne oasi p ne ruwe ne na.

それぐらい立派な長者はいないほどにお前はなるだろうぞ、

セコロ レタッチラマンテプ カムイ ハウエアン ヤク アタカラ

sekor retarciramantep kamuy hawean yak a=takar

と白いクマ神様が言ったら私が夢に見た

(萱野：ほ～夢？)

うん。

(萱野：ほ～)

そのお礼言…… オマンテしてから夢見たのさ。

そのお礼言... omante してから夢見たのさ。

そのお礼言…… 送ってから夢見たのさ

(萱野：ほ～あ～そうそうなるほどね～)

だからエカリ エクしたのはシクヌ ワ エクして、こんとホリピするもの
だから ekari ek したのは siknu wa ek して、こんと horipi するもの
だから、向かってきたのは死なずにきて、今度踊りもしたもの

カムイも テクトゥリ コロ ホリピ° するんだと
kamuy MO tekturi kor horipi SIRUNDATO
神も手を伸ばしながら踊るんだって

(萱野：う〜んなるほどね)

タシロ アエタイテクテク して ケウエ アホムス アクス ネノ ホリピ° して
tasiro a=etaytektek SITE kewe a=homsu akusu neno horipi SITE
私が山刀を引き抜いて危なかったことの見舞いを言う(魔払い)と、そんなふうには踊って

ヘセパハ タプネ タプネ ハウエアン したということ
hesepaha tapne tapne hawean SITATOIUKOTO
吐く息はかくかくしかじか言ったということ

(萱野：なるほどなるほど)

アン レタラ カムイ だと ユピ° ワノ
ar_ retar kamuy DATO yupi wano
真っ白いクマ神だと兄から (殺されそうになった)

【注】

- [1] 「二次的なサケへとは、サケへのように神謡の中に繰り返し現れる表現であるが、サケへとは異なって地の文の一部をなしており、しかも、文法的、語彙的に破格であり、かつその話に固有な表現とみなせるものである」(中川裕、2001「口承文芸のメカニズム」藤井貞和(他編)『シリーズ言語態2 創発的言語態』東京大学出版会：P68)。
- [2] ネシ nesi は強調をあらわす。
- [3] e-「〜で」 kat 「姿」 -ne 「〜になる」 -kar 「〜させる」 = 「〜という姿にさせる」か？
つまり、兄は弟を殺したわけではなく、とどめをさしたのは人間の男のほうなので、「殺したにせよ、殺したのと同じ姿にしたのにせよ」と言っているのではないかと、考える。